

7777! 第60号 しながわ情報紙

ホットな品川区の情報や話題をお届けします。
 発行日：平成26年1月1日（水曜）
 発行者：若林ひろき 品川区議会議員
 ブログ <http://ameblo.jp/wakabayashi-hiroki/>
 ツイッター https://twitter.com/wakabayashi_h



- もくじ**
- 1P
 - この1年—品川区サービス向上報告
 - 品川区なう—行政・議会トピック—
 - 私の本棚「どっこい大田の工匠たち」
 - 七草粥の作り方
 - 2P
 - 成人式のお知らせ
 - 昭和33年の航空写真を公開
 - メールけいしちょうに登録を
 - 時候のご挨拶について



♪お正月で疲れた胃腸を休めましょう@七草粥♪
 ※なすな・はこべら・ごきょう・せり・すずな・すずしろ・ほとけのざ
 <作り方>4食分
 材料：米1合、七草セット1パック
 1.といたお米を鍋に入れ、5倍の水(5カップ)で30分浸けて置く。
 2.七草を刻み、お湯で柔らかくする。水を切ってザルに上げる。
 3.鍋を強火にし、煮立ったら弱火にして15分煮る。焦がさないように！
 4.塩を3つまみ位入れ、ゆでた七草を加えて軽くまぜ、火を止めて数分蒸らして出来上がり(´_`v)

この1年—品川区サービス向上報告



地域

私道の整備(平塚、東五反田)
 カーブミラーの設置(上大崎)
 五反田駅・目黒川沿道の美化
 御成橋公園の遊具改善
 道路老朽化対策(戸越銀座、上大崎)
 危険な崖調査・安全対策(大崎など)
 雑草の除去など

子育て支援

子ども・子育て会議の設置(待機児童対策等)
 私立幼稚園就園奨励金第3子所得制限撤廃
 保育園484人定員増、認証保育料助成年4回へ拡大

高齢者支援

特養ホーム3カ所増設計画、グループホーム3カ所増設
 コミュニティバス導入検討会議

障がい者支援

災害時支援ヘルプカード作成、障がい者作品展

健康

3ワクチン接種無料化、ジェネリック医薬品使用促進

中小企業支援

若者就業支援(就活セミナー等)、公共工事賃金アップ

防災対策

道路陥没防止空洞調査、災害情報発信時間短縮、
 スタンドパイプ操作機材充実、認証保育料助成年4回へ拡大

教育

スクールソーシャルワーカー配置、学校・体育館天井等落下防止

★区民相談などの声をいただき、会派・個人で様々な課題に取り組んでいます。

品川区なう ～行政・議会トピック～

12月議会では、条例、請願・陳情、補正予算などを審議し、決定しました。主な内容は、

●大崎在宅サービスセンター

一時移転していた介護施設・大崎在宅サービスセンターが、大崎駅西口に戻ってきます。来年3月24日スタート、大崎ウイズタワー(24階建て)1,2階部分。新たに認知症対応型通所介護サービスも行われます。

●上大崎1丁目発達障がい者支援施設&グループホーム

平成26年4月に開設され、社会福祉法人げんき(品川区)が運営(予定)します。発達障がい者支援では、パソコン活用をした書類電子化作業やITで生産管理する水耕栽培事業が就労支援として実施されます。

●旧みやこ荘跡・上大崎3丁目特別養護老人ホーム

平成29年度に開設予定の特養ホームの運営者に、社会福祉法人愛生福祉会(名古屋市)が選定されました。定員102名、ショートステイ、クリニック、地域開放防災拠点などが整備されます。

●補正予算—東京五輪気運醸成、保育、教育などのために9,566万円

組まれた主な事業は、オリンピック・パラリンピック開催記念イベント、在住外国人との交流促進、スポーツ観戦ツアー、外国語観光地図作成、認証保育所・保育ママ職員給与の向上、小・中学生英語教育などです。

●品川区議会議員の費用弁償額の変更

議員が出席(本会議等に出席)した時の手当てが、4,000円から2,000円に変更されました。

◆請願・陳情

- ・八潮から区役所などに行けるコミュニティーバスを求める請願＝不採択
- ・「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求める請願＝趣旨採択
- ・品川区私立幼稚園児保護者負担教育費軽減の為の請願＝採択
- ・一人ひとりの子どもが大切にされる品川区を求める請願＝不採択
- ・食品放射性物質測定器の設置についての陳情＝採択

<議会トピック>

会派の態度分かれる

「食品放射性物質測定器の設置についての陳情」の採択で、民主系会派7名の態度が二つに分かれました。陳情の内容は、放射性物質から子どもの安全を守るために行政で測定器を購入し、市場に出ている食品の汚染数値を知ることによって安心を与えてもらいたい、というものです。厚生委員会では民主系会派議員も賛成に回り、賛成多数となりましたが、本会議の採択では同会派議員の態度が賛成3、反対3、退席1と割れたため、陳情は最終的に反対多数となり不採択の結果となりました。本来、議案に対する態度は会派で統一しますが、今回の陳情では会派として意見をまとめることができなかったようです。



私の本棚 「どっこい大田の工匠たち」 小関智弘(現代書館) その1

町工場—大きな工場の下請け・孫請けから、大した製品ではなからうと思われがち。ところがどっこい、そこで作られるものは、宇宙衛星や医療機器の重要な部品であったり、1人の職人が辞めてしまえば大きな工場が成り立たなくなったりする重要なものです。大田区では、従業員3人以下のものづくり企業で働く腕利きの職人を「大田の工匠」として表彰する「大田区ものづくり優秀技能者」制度を平成20年から5年間実施しました。本書は、ものづくりの世界で50年働いてきた筆者が、表彰された工匠103名のうち17人を取材しています。

◆人工心臓づくりのエキスパート 田中隆さん「安久(やすひさ)工機」

は、日本の人工心臓づくりを支えています。関連機器だけで60種類超を手掛け、東洋紡で製品化されたポンプの臨床例は千例近く。製品の安全性は最優先ですが、多くの患者が使えるには低コスト化も重要です。血液室製作コストの10分の1圧縮目標に向け、金型に0.1ミリの穴をたくさんあけ1枚のプラスチック板から真空成型方法で作る技術を開発しました。

様々な金属機械加工や樹脂系加工が必要な分野ですが、高度な技術は、実は町工場の集積地大田区ならではの利点です。同社にはいつでも協力する工場が50社もあり、それぞれ多様な技術があります。下請けではない横請けという関係の中で、地に蓄えられた技術技能を生かすことにより不可能を可能にしていけます。(続く)

